

ジャンボタニシ

スクミリンゴガイ がいませんか？

これが
スクミリンゴガイ
(ジャンボタニシ)



成貝(殻高2~7cm程度)



法面に産み付けられた卵塊



イネに産み付けられた卵塊

どんな被害がある？

田植え直後のイネを食いちぎったり、水面に浮かぶ葉を引き込むように食害します。被害が多ければ欠株になり、収量に影響することもあります。

田植え後約20日間のイネがやわらかい時期に被害を受けやすく、苗が大きくなると被害が少なくなります。1cm以下の幼貝はイネの茎を食害できません。

乾田直播栽培では、イネが硬くなったのちに入水するので、被害は比較的問題になりません。



イネを食べるジャンボタニシ



被害にあった生育初期のイネ



被害にあった水田

ジャンボタニシ

スクミリンゴガイからイネを守ろう

水稲生育期に取り組むジャンボタニシ対策

用水路から侵入させない

水田の取水口と排水口に9mm目合いのネットや金網(2cm以下の細かい目)を設置します。ネット等のゴミ詰まりを防ぐため、外側に目の粗い網を設置します。

田植え後20日間は浅水管理する

水深が4cmを超えると被害が生じやすくなります。

田んぼ内と周辺のジャンボタニシを減らす

水田内、用水路などのジャンボタニシの捕殺に努め、卵塊は早めに水面下へ払い落とし、卵がふ化できないようにします。



取水口に設置した金網

農薬で防除する

- スクミノン 1~4kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- ジャンボたにしくん 1~2kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- キタジンP粒剤 3~5kg/10a・本田初期・2回以内
- スクミハンター 1~2kg/10a・収穫45日前まで・3回以内
- スクミンペイト3 2~4kg/10a・発生時・一

(注)主な登録農薬を示した。ただし、「スクミノン」と「ジャンボたにしくん」は同一成分を含むため散布回数に注意する。

農薬散布の注意事項

- 散布後、7日間は落水、かけ流しはしないようにしましょう。
- 農薬のラベルに記載された使用方法、使用上の注意事項を守って使用しましょう。

※周辺の生活環境動植物の被害防止に努めましょう。

用水路などのジャンボタニシは地域ぐるみで退治(捕殺)しよう

(一部のみの捕殺ではなかなか効果があがりません)